



五所川原

市議会だより

第43号

令和3年
11月



～社会福祉大会～

10月30日、オルテンシアにおいて第64回五所川原市社会福祉大会が行われました。大会では、「豊かな地域福祉を築こう」をテーマに市民団体「ともに生きる会 このゆびとまれ」代表の角田憲勇氏が「障がい者に優しい街を目指して」と題して基調講演されたほか、表彰式では長年、社会福祉発展に貢献された方々として表彰の部において21名の方が、感謝の部では26団体と4名の方が表彰されました。



主な内容	第7回定例会の概要 …… 2～4	令和2年度各会計決算 …… 8～9	次回定例会の予定 …… 12
	予算決算特別委員会 …… 4	討論 …… 10	議会傍聴について …… 12
	一般質問 …… 5～8	議決結果表 …… 11	編集後記 …… 12

令和3年第7回定例会

令和3年第7回定例会が9月2日から9月16日までの15日間の会期で開催され、市長から提出された議案41件を原案のとおり可決、認定、同意しました。また、議員発議3件は原案可決、請願2件は採択としました。

人事案件

○財産区管理会財産区管理委員 喜良市財産区管理会

こん	かね	あき			
今	金	明	氏	(再任)	
よね	や	かつ	あき		
米	谷	勝	昭	氏 (再任)	
か	が	や	かつ	お	
加	賀	谷	勝	雄	氏 (再任)
なか	むら		ただし		
中	村		正	氏 (再任)	
こ	がわ	まさ	のぶ		
古	川	政	信	氏 (再任)	
こん		とも	ぞう		
今		友	藏	氏 (再任)	
こん		じゅん	いち		
今		淳	一	氏 (新任)	

○人権擁護委員

おさ	ない	はじめ		
長	内	一	氏	(みどり町 再任)
ふじ	もと	あつ	こ	
藤	本	敦	子	氏 (朝日山 再任)
こん	どう	まさ	ひろ	
近	藤	昌	浩	氏 (十三深津 再任)

補正予算

○令和3年度一般会計補正予算 (第9号)

【補正額 2億259万2千円】

<補正予算の主な内容>

- ・子どものインフルエンザ予防接種事業 (その他世帯分) (2,871万8千円)
子どものインフルエンザ予防接種費用を昨年度と同様に無償とし、季節性インフルエンザの予防接種の推進を図るものです。
- ・小、中学校管理運営費 (1,359万5千円)
コロナ禍にあっても十分な教育活動を継続するため、児童生徒の学習や感染予防対策に必要な備品を整備します。
- ・指定管理施設減収補てん (1,600万円)
新型コロナウイルス感染症の影響により減収となっている指定管理施設に対し補てんを行うものです。

- ・公共施設等整備基金積立金 (4,272万5千円)
漆川工業団地内の不動産 (土地) 売払収入が発生したため、同額を公共施設等整備基金に積み立てるものです。基金は施設の修繕等に活用します。
- ・旧本庁舎解体事業 (725万円8千円)
旧本庁舎解体事業に際し、アスベスト分析調査及びダイオキシン類分析調査の追加調査、また、旧本庁舎内にある残置物を処分するため、産業廃棄物処理委託料を補正するものです。
- ・高齢者生きがい活動促進事業 (100万円)
企業等を退職した高齢者等が主体となり、介護予防や生活支援の活動等を行う団体の立ち上げを支援する事業で、実施団体に対し補助金を交付するものです。
- ・健(検)診結果の利活用に向けた情報標準化整備事業 (506万円)
健康増進事業に基づく歯周疾患検診、骨粗しょう症検診、肝炎ウイルス検診及びがん検診の検診結果等の電子化された情報をマイナポータルを通じて、転居時に市町村間で引き継がれる仕組みや個人が一元的に確認できる仕組みを構築するため、健康管理システムを整備するものです。
- ・農道維持管理費 (1,748万4千円)
防雪柵建込収納業務委託単価について市道と広域農道の単価が異なっているため、統一を図るため見直しを行い、不足分について補正するものです。
- ・訪日外国人旅行者誘客促進事業 (416万9千円)
当市発祥のりんごである「トキ」や特産品等を台湾において販売・PRすることで販路拡大を図り、またコロナ収束後を見据えた観光PRも含めた事業を行います。
- ・金木観光物産館リニューアル事業 (200万円)
金木観光物産館のリニューアルオープンに向けて、出荷者による出荷者友の会の設立や出品トレーニング等を行う必要があるため、指定管理予定者に対して当業務を委託し、市との協働により円滑な運用を目指します。

- ・道路維持管理事業（1,999万8千円）
市民の安全・安心を確保するため、当初では見込んでいなかった箇所の道路側溝修繕や舗装を行います。
- ・除排雪事業（994万2千円）
当初計画していなかったロータリ除雪車の修繕が必要となったため、補正するものです。
- ・公営住宅建替事業（652万5千円）
世界的なウッドショック（木材価格の高騰）による、新宮団地市営住宅建設に必要な木材の値上げに伴い、工事費が増額となったことから補正するものです。
- ・成人式開催事業（122万7千円）
延期となった令和3年成人式及び令和4年成人式の開催に係る経費を補正するものです。

○令和3年度神山財産区特別会計補正予算（第1号）

【補正額 9万1千円】

<補正予算の主な内容>

- ・一般管理費（9万1千円）
長橋コミュニティセンター付近で発生した倒木事故における賠償金を支払うものです。

○令和3年度下水道事業会計補正予算（第1号）

【補正額】 資本的収入 1,382千円
資本的支出 1,382千円

- ・可搬式汚泥ポンプ更新事業（1,364千円）
漁業集落排水施設の各槽の汚泥を移送するために必要な可搬式汚泥ポンプを更新するものです。

○令和3年度一般会計補正予算（第10号）

【債務負担行為補正額 2,700万円】

<補正予算の主な内容>

- ・金木観光物産館指定管理料（2,700万円）
令和4年度から令和6年度までに支出が見込まれる金木観光物産館の指定管理料の限度額を定めるものです。

条 例

- 産業振興促進区域における固定資産税の特別措置に関する条例の制定
「過疎地域自立促進特別措置法」（旧過疎法）

が期限を迎え「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」（新過疎法）となり、これに伴い産業振興促進区域における固定資産税の特別措置の事項を定めるものです。

○国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

刑事施設等に入所し、給付制限を受けている方の国民健康保険税の減免規定を追加するものです。

○金木観光物産館設置条例の一部を改正する条例の制定

金木観光物産館のリニューアルに伴い、管理運営を指定管理者に行わせることとし、また販売に係る手数料や開館時間及び休館日について定めるものです。

○立佞武多の館設置条例の一部を改正する条例の制定

立佞武多の館を将来、様々な方法で活用することを想定し、利用料金等を明文化するものです。

○金木交流施設設置条例の一部を改正する条例の制定

金木交流施設を市民の交流スペースとして活用するほか、営利等を目的とした使用も想定し、使用料等を明文化するものです。

その他

○市道路線の認定

宅地造成に伴い寄付採納された道路等を市道として認定するものです。

- ・漆川20号線 27.50m（総延長107.60m）
- ・漆川27号線 178.39m

○過疎地域持続的発展計画の策定

「過疎地域自立促進特別措置法」（旧過疎法）が令和2年度で失効し、新たに「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」（新過疎法）が施行され、当市は引き続き「みなし過疎地域」として全域が過疎地域として指定されたことから、今後さらに地域活力の向上を図るため、本計画を策定するものです。

○公の施設の指定管理者の指定

- ・金木観光物産館
指定団体：株式会社かなぎ振興舎
指定期間：令和4年4月1日から3年間

議員発議

○コロナ禍による厳しい財政状況に対処し 地方税財源の充実を求める意見書

コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策のほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費などの財源が求められることから、国に対し必要な措置を講じるよう求めるものです。

提出先…衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣

○新型コロナウイルス感染症による米価下落 に対し緊急対策を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の影響により、米の過大な在庫が生じたことにより、米価が下落し、米農業者の経営悪化を招くことから、米価下落に対する農業者支援を国及び県に対し要望するものです。

提出先…衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、青森県知事

請願

○核兵器禁止条約に関する請願書

日本政府に対し、核兵器禁止条約へ署名するよう意見書を提出することを求める請願ですが、採決の結果、賛成多数で採択されました。意見書案は次回定例会で審議されます。

→討論要旨 P10 採決結果 P11

○学校給食無償化に関する請願書

国に対し、子どもたちの健全な食生活の確立のために食育が重要な役割を果たすことをふまえ、学校給食の無償化を求める意見書を採択し、国会及び政府に送付することを求める請願ですが、採決の結果、賛成多数で採択されました。意見書案は次回定例会で審議されます。

→討論要旨 P10 採決結果 P11



予算決算特別委員会

9月8日に全議員で設置された予算決算特別委員会は、委員長に高橋美奈委員、副委員長に桑田哲明委員を選任し、翌9日及び10日令和2年度一般会計歳入歳出決算など22件について審査を行いました。委員会での質疑のうち、主なものを掲載いたします。

○令和2年度一般会計歳入歳出決算

- ・コロナ禍において減収となった種別及び滞納率について
- ・入湯税の不納欠損の詳細及び一人当たりの入湯税額について
- ・ふるさと納税の実質財源を充当した事業及び金額について
- ・市民が市外へふるさと納税した件数及び金額について
- ・各特別会計の繰入金の詳細について
- ・自動車取得税交付金の詳細について
- ・特別定額給付金の給付実績について
- ・高齢者生活支援タクシー券配布事業の目的及び実績について
- ・介護用品支給事業の内容について
- ・子どものインフルエンザ予防接種の実績について
- ・創業等支援事業の内容について
- ・道路橋の工事及び補修の内容について



- ・いじめ問題の相談件数について
- ・走れメロスマラソン事業の内訳について
- ・タブレット端末の整備数及び運用について
- ・G I G Aスクールサポーターの内容について
- ・小学校トイレ洋式化の状況について
- ・小・中学校の空調設備の整備状況について
- ・小・中学校の空調設備の活用状況について

○令和2年度国民健康保険事業勘定特別会計 歳入歳出決算

- ・一人あたりの総医療費が減少した要因について

○令和2年度介護保険特別会計歳入歳出決算

- ・介護保険料の特別徴収における減免の要因について
- ・要介護認定者数における県内市町村との比較について



至誠公明会

外崎 英継



市民の健康づくりや健康寿命の延伸について

問 人には平均寿命と健康寿命があり、健康寿命は健康上の問題で日常生活が制限されることなく、元気で自立して過ごせる期間をいうが、当市の男性で約70歳、女性で74歳となっている。市民が健康で豊かな暮らしを求めるためには健康寿命を延ばすことが大事であるが、市ではどのような取り組みをしているか。

答 市民が心身ともに健康で生き生きとした日常生活を送れるために、生活習慣病の一次予防に重点をおき、各種がん検診、糖尿病・睡眠などをテーマにした健康教育、国民健康検査未受診の勧奨、その他さまざまな保健指導を実施している。

五所川原地区への健康増進施設建設について

問 当市は冬期間、積雪や吹雪のために屋外での運動が制限されてしまう。周辺にはスポーツジムが数社あるが市民が手軽に利用できる利用料金ではない。冬期間の運動不足解消と健康増進のために市民が手軽に利用できる、ランニングマシンやジムトレーニングができる機器の設置、最低限のシャワーを完備した健康増進施設を克雪ドーム隣接地に設けてはどうか。市の考え方を伺いたい。

答 健康増進施設については、既存の施設を最大限に活用した中で、官民の連携を図り、各スポーツ団体が取り組んでいる運動について、多くの市民に周知することで運動習慣の定着を図っていく。

走れメロスマラソンの終了について

問 平成31年度の第8回大会では、市民455名を含む県内外から2,640名の参加を得、好評を博し、年々市民の参加者も増え、観光資源のPRや市民の健康意識の増大、経済効果など様々なことに波及効果が期待される「走れメロスマラソン」を中止・延期でなく、今後開催しない終了とした理由について。

答 太宰治生誕100周年の節目を経て、太宰治を顕彰するという一定の役割を終えたものと判断し、市と実行委員会が協議し終了する方針を示した。



新政会

黒沼 剛



お悔やみコーナーについて

問 死亡届が提出された際の対応について伺いたい。

答 家族などが亡くなった時の対応について、市民課の窓口で死亡届が提出された際、所定の手続をした後、市民課窓口職員が遺族等へ、五所川原市役所へ死亡の届出をされた方の手続チェックリストを渡し、死亡した際の手続を説明するとともに、相談なども受け付けている。現在、市ではお悔やみコーナーを開設していないが、庁舎1階には民生部、福祉部のほか税務課、収納課など、手続が必要となる主な窓口を集約配置し、窓口システムによる番号札の発券、そして職員が直接関係課に案内することにより、ワンフロアでスムーズに手続が出来るように対応している。

今後も窓口システムを活用しつつ、遺族の方の精神的、肉体的にもつらい状況に常に寄り添い、特に高齢者など手続が不慣れな方には、職員が十分にサポートをするなど、負担が増えないよう一層懇切丁寧な対応に努めていく。

移動式期日前投票所について

問 移動式期日前投票所を実施する予定が今後あるか伺いたい。

答 移動式期日前投票所については、投票箱を積んだ車で住民の下に出向くもので、受付を車外で行い、投票を車内で行う方法や施設内の一室を借り上げて行う方法がある。県内では、投票所を統合した為、統合前の施設に出向き、数時間投票所を開設している自治体もある。また若年層の投票率の向上のため高校に出向き、投票所を開設している自治体もあり、高校で行う場合は、昼休み又は放課後の1時間程度を見込んで開設したと伺っている。移動式期日前投票所を実施する場合は、通信設備等の整備や人件費等が必要となること、高校内で投票できる場所の確保や授業以外のお昼時間や放課後を利用して投票することができるかといったことが課題である。また高校では、18歳となる対象者が3年生であり、選挙の執行時期が年度初めの場合は有権者が少ないことが想定されることから、実施については総合的に検討していく。



新国会

桑田 哲明



今冬の除排雪と生活道路の整備・補修について

問 去年の除排雪出動状況を見ると、市民と市の判断に認識のズレを感じたが、積雪量がどの位で出動要請を出しているのか。

答 おおむね10センチメートルと定めている。

問 特に土日・祝日の窓口電話が繋がらないという苦情があるが、どう対応するのか。

答 今後、要望に対して素早く対応するため、土日・祝日の体制強化を図っていく。

問 排雪を行う場合、事前にその地区の住民に計画を示していただけられないものか。

答 排雪作業は降雪、積雪の状況や除雪作業の兼ね合いから当日に作業の実施を決定する場合が多いため、事前告知が中々難しい状況である。

問 一般道路の穴埋め補修に限らず、車がバウンドする段差の解消、そして歩道においても、お年寄りが手押し車で安全に走行できるよう整備、補修の対象としていただきたい。

答 道路、歩道の損傷については、職員による現場確認を行った上で施工方法を検討し、整備、補修を実施していく。

スマート農業の土台となる基地局設置について

問 基地局を5基設置するよう県に要請しているが、その設置地域、場所はどこか。

答 令和3年度に市浦最終処分場周辺に1基、ごしょつがる農協の梅沢グローバルライスセンター周辺に1基、五所川原農林高等学校敷地内に1基、令和4年度に金木総合支所に1基、ごしょつがる農協カントリーエレベーターに1基、それぞれ設置する予定としている。

中小規模農家の所得向上について

問 リニューアルする金木観光物産館直売所に、1年を通して農作物を提供する販路ができるため、小規模農家であっても、高収入が期待できる施設園芸を推進し、パイプハウスに補助をお願いしたい。

答 中小農家が少ない経営面積の中で所得を上げていくには、施設園芸栽培の手法が手取り早い。産直への取組みを行う農家を中心として、ハウスの建設に当たっての支援策を検討していく。



日本共産党

花田 進



新型コロナワクチン接種について

問 ワクチン接種の状況と今後の計画や子供たちへの感染対策をどのようにしているか伺いたい。

答 市における9月3日現在の接種者数は、1回目接種終了者が2万6,195名、接種率53%、2回目接種終了者は2万2,773名、接種率46.1%となっている。

このうち、12歳から64歳までの1回目接種終了者9,093名、接種率30.6%、2回目接種終了者6,340名、接種率21.3%となっている。なお、本市では集団接種と個別接種を併用しており、割合はおおよそ、集団接種が6割、個別接種が4割となっている。

今後の計画としては、64歳以下の希望者が80%とした場合で、11月中に完了できる見込みとなっている。

学校での感染対策として、文部科学省作成の新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル、これに基づき、毎日の検温や健康観察、マスクの着用、手指の消毒、3密の回避、教職員等による消毒作業など、基本的な感染防止対策を徹底している。また、保育施設では、職員、子供が登園前に検温し、発熱や風邪の症状がある場合には登園しないこととしているほか、手洗い、うがい及び手指消毒の励行や施設内の定期的な換気、保護者が送迎の際に施設内へ立ち入ることを制限するなど、それぞれの施設において感染防止に努めている。

雪対策について

問 子供たちや住民に優しい雪対策として、通学路、歩道の除雪や家の前への置き雪を少なくする対策をもっと強化するべきではないか。置き雪も少ない、マルチプラウ付除雪車の導入状況を伺いたい。

答 安全な歩行空間を確保するため、市と委託業者が情報を共有して、歩道除雪の回数を増やすなど、特に通学路の安全には気を配っていく。要望も間口除雪に関するものが多い現状であり、今後雪寄せ場の確保など、委託業者や地域の連携の下、除雪作業の改善に努めていく。また本市が保有するマルチプラウ付除雪車の台数は、五所川原地区が1台、金木地区が1台、市浦地区が3台となっている。

※ 議員氏名横のQRコードをご利用いただくそれぞれの議員のインターネット中継へ簡単にアクセスできます。
<http://www.goshogawara-city.stream.jft.co.jp/>



至誠公明会

成田 和美



コロナワクチンの接種状況について

問 当市のワクチン接種の状況について伺いたい。

答 当市における9月3日現在の接種者数は、1回目接種終了者2万6,195人、接種率として53%、2回目接種終了者が2万2,773人、接種率46.1%となっており、市民の約46%が2回目の接種を終えている。そのうち65歳以上の1回目接種終了者は、1万7,102人、接種率87%、2回目接種終了者は1万6,433人、接種率83.6%となっている。
 なお、12歳から64歳までに1回目接種終了者は9,093人、接種率30.6%、2回目接種終了者は、6,340人、接種率21.3%となっている。

コロナワクチン接種の今後について

問 64歳以下のワクチン接種も始まるが、今後の流れについて伺いたい。

答 当市の新型コロナウイルスワクチン接種対象者は、現在、4万9,400人となっており、当市の接種計画においては、接種対象者の80%の方が接種すると想定している。想定人数として、3万9,520人が見込まれている。9月3日現在で2回目の接種が進んでいる方が2万2,773人となっているので、今後接種を希望される方は、約1万6,700人と見込んでいる。
 必要となるワクチンについては、10月末には確保される見通しになっているので、11月中には接種が完了すると見込んでいる。



市民の声を聴く会

藤森 真悦



駅前整備と中心市街地活性化策について

問 中心市街地活性化を目指し、立佞武多に会えるまち～文化の薫るハイカラなまちを目標に、大町2丁目を中心とした土地区画整理事業は、長い年月をかけ119億円の莫大な予算が投入された。多くの市民の声を代弁し、あえて言わせて頂くが、中心市街地活性化策は失敗に終わったのでは無いか？ 近年は商売の廃業を選択される皆様が増え、空き地、空き店舗が目立つ。このままの中心市街地で良いのか？ 私は以前から、駅前整備の重要性を何度も質問している。市民の皆様からは駅前・街中に野菜惣菜が買える物産館を、駅裏の皆様からは駅前への連絡通路整備の要望を頂いている。再度119億円かけて駅前、1丁目を区画整理すると言う事ではない。長年手付かずの駅前を中心とした面的整備をする事で新たな人流が生まれ、必ずや中心市街地活性化のきっかけになると思っている。

3月に国会で新過疎法が採択された。交通・買い物と言う文言が追加された新過疎債を使う事も可能である。市民が笑顔に元気になる様な施策をこれから行政は考えるべきである。前政権では、まったく手をつけてこなかった。私は佐々木と言う名字の市長には何かやってくれと期待をしている。中心市街地には、私を含め多くの市民の思いがある。市長にご質問したい。

答 私は生まれが駅前大町1丁目1番地であり、商売も駅前ですべて50年間見続けてきた。確かに駅前の現状は厳しい状況である。これからの駅前整備は、2つの観点から考察する必要がある。1つ目は、市民生活にどう1丁目が寄与するか？ 2つ目は、2市4町によるつがる西北五広域連合の中心地それは観光拠点であり地域交通の要衝としての駅前である。青森市を例にあげると、新町南側エリアは、国の支援を受け市と一体になり整備をしている。中心市街地には市役所、つがる総合病院、立佞武多の館がある。駅前、中心市街地を多様な機能空間へと再構築していく為にも駅前を公として1丁目は民間の力を借り将来の街づくりを遅からぬ時期に検討していく必要があると思っている。

※その他質問（幻の桜エゾノウワミズザクラの保護）（災害時の都市ガス問題）は、市議会ホームページの会議録・録画中継をご覧ください。



至誠公明会
平山 秀直



新型コロナワクチン集団接種について

問 集団接種における集団接種会場について伺いたい。

答 集団接種会場について、エルムホール、中央公民館、金木公民館の3か所で当初進めてきた。その中で、エルムの商業施設を活用することで話を進めてきたが、事業者のほうから、事情で使用ができなくなったことから、現在については、エルムホールと9月5日から市役所と金木公民館の3か所で集団接種を進めている。これまでエルムホールを活用して集団接種を行っていたが、様々な事情があるので、公共施設を中心とした接種会場を確保することが重要であると認識している。今後3回目接種など様々な状況があると思うが、できるだけ公共の施設で接種ができるよう今後、検討していく。

コロナ禍による小中学生自殺者の増加について

問 コロナ禍の影響で全国で小中学生の自殺者が増加している。当市においての子供の心の負担を軽くする対策について伺いたい。

答 新型コロナウイルス感染症による影響が長引く中で、日常生活における様々な制約、あるいは学習等への不安が子供たちの心理面に影響を及ぼしていることが懸念される。このため、不安や悩みを抱える児童生徒に対し、学級担任や養護教諭に加えスクールカウンセラーが対応できるよう、スクールカウンセラーの拡充を図るなど、相談体制の充実に努めてきた。当市の小中学校においてスクールカウンセラーが対応した相談件数は、小学校で平成31年度が1,679件、令和2年度は2,271件、中学校は平成31年度が510件、令和2年度は734件といずれも件数は増加しており、スクールカウンセラーが身近で気軽に相談できる存在となっているものと捉えている。コロナ禍による生活様式の変化はもとより、雇用や家計への影響もそれぞれの相談内容の背景に考えられることから、引き続き子供たちの観察をきめ細かく実施し、必要に応じてスクールカウンセラーと連携しながら、児童生徒の心のケアに努める。

令和2年度 各会計決算

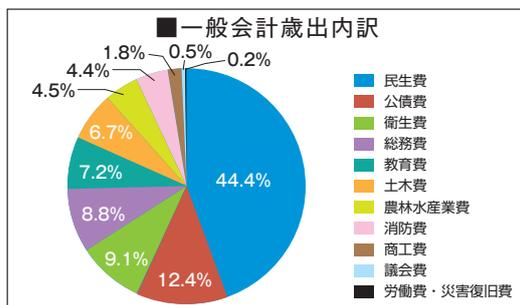
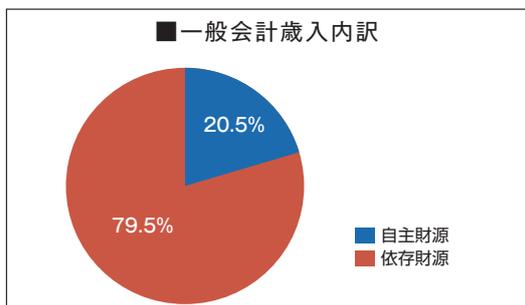
一般会計の実質収支は
8億4,688万3千円

令和2年度決算は、一般会計の実質収支額が8億4,688万3千円の黒字となったほか、健全化判断比率等の指標はいずれも健全化の基準を下回りました。

公営企業会計では、下水道事業会計において純損失が生じており、引き続き下水道未接続世帯への加入促進を図り、下水道使用料の確保に努めるとともに、計画的な維持管理、事業コストの縮減などへの取組が求められます。

令和2年度一般会計決算における歳入のうち、市税などの自主財源は80億1,160万4,551円（20.5%）となっており、残りの312億2,826万7,340円（79.5%）は地方交付税や市債、国・県支出金などの依存財源で賄われています。

歳出では、児童、高齢者、障害者及び生活困窮者等に対する福祉行政のために使われる民生費、地方債の償還のために使われる公債費、保健衛生行政及び清掃行政のために使われる衛生費の順に割合が高くなっています。



令和2年度五所川原市各会計決算の概要

○一般会計・特別会計

単位：千円

会 計 名	歳入決算額	歳出決算額	差引(形式収支)	翌年度繰越財源	実 質 収 支	
一 般 会 計	39,239,872	38,361,316	878,556	31,673	846,883	
特 別 会 計	国民健康保険事業勘定特別会計	6,535,107	6,199,634	335,473	0	335,473
	国民健康保険医科診療施設勘定特別会計	191,512	145,439	46,073	0	46,073
	国民健康保険歯科診療施設勘定特別会計	44,473	38,253	6,220	0	6,220
	後期高齢者医療特別会計	709,432	694,738	14,694	0	14,694
	介護保険特別会計	6,786,417	6,605,462	180,955	0	180,955
	高等看護学院特別会計	103,393	93,250	10,143	0	10,143
	神山財産区特別会計	91	74	17	0	17
	松野木財産区特別会計	97	51	46	0	46
	戸沢財産区特別会計	145	51	94	0	94
	嘉瀬財産区特別会計	336	174	162	0	162
	喜良市財産区特別会計	139	0	139	0	139
	相内財産区特別会計	1,901	629	1,272	0	1,272
	脇元財産区特別会計	2,419	1,389	1,030	0	1,030
十三財産区特別会計	1,205	264	941	165	776	

○公営企業会計

単位：千円

会 計 名	総 収 益	総 費 用	純 損 益	資 金 剰 余 額
水 道 事 業 会 計	1,414,755	1,231,462	183,293	1,304,154
工 業 用 水 道 事 業 会 計	108,669	105,132	3,537	315,274
下 水 道 事 業 会 計	829,665	1,044,294	△ 214,629	172,967

○健全化判断比率の状況

単位：%

健 全 化 判 断 比 率	令和2年度	平成31年度	早期健全化基準
① 実 質 赤 字 比 率	-	-	12.64
② 連 結 実 質 赤 字 比 率	-	-	17.64
③ 実 質 公 債 費 比 率	10.5	11.1	25.0
④ 将 来 負 担 比 率	125.0	130.8	350.0

○資金不足比率の状況

単位：%

会 計 名	令和2年度	平成31年度	経営健全化基準
① 水 道 事 業 会 計	-	-	20.0
② 工 業 用 水 道 事 業 会 計	-	-	20.0
③ 下 水 道 事 業 会 計	-	-	20.0

用語解説

- ① 実質赤字比率 地方公共団体の最も主要な会計である「一般会計」等に生じている赤字の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。
- ② 連結実質赤字比率 下水道など公営企業を含む「地方公共団体の全会計」に生じている赤字の大きさを、財政規模に対する割合で表したものです。
- ③ 実質公債費比率 地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。
- ④ 将来負担比率 地方公共団体の借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。
- ⑤ 資金不足比率 下水道などの公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものです。

討 論

第7回定例会最終日に、総務、民生文教、経済建設常任委員長及び予算決算特別委員長の報告に対して討論がありましたので、その内容を掲載いたします。

○核兵器禁止条約に関する請願書

賛成

日本共産党 花田 進

2017年7月7日、122か国の賛成により採択された「核兵器禁止条約」により、核兵器がようやく「悪の兵器」として認定された。2020年10月24日、批准した国は発効要件となる50か国に達し、90日後となる2021年1月22日に、条約は発効を迎えた。

日本は唯一の被爆国であり、核廃絶の先頭に立つべきと被爆2世の私をはじめ、多くの国民が思っている。松井広島市長は平和宣言の中で「一刻も早く核兵器禁止条約の締結国となる」ことを政府に求めた。

ところが、菅政権は「核抑止力の正当性が損なわれる」との理由で条約参加を拒んでいる。「核抑止」は広島・長崎のような一瞬にして人間を焼き殺す非人道的惨禍を引き起こすことをためらわないということで、この考えから抜け出すべきである。

日本は核「抑止力」論を捨て去り、禁止条約に署名、批准すべきである。

○「学校給食の無償化」に関する請願書

賛成

日本共産党 花田 進

学校給食の無償化は、青森県内では市をはじめ8自治体におよび、一部補助を含めると23自治体に及んでいる。人口減少を食い止めるためにも、若い親の教育費負担を軽減することは重要である。コロナ禍にあってはいっそう重要ではないか。居住する地域によって教育費負担に著しい格差があらわではない。文部科学省は、学校給食法において義務教育段階における「学校給食の普及充実及び学校における食育の推進」を行うとしており、給食の実施を呼びかけている。国の方針として学校給食を無償化する妥当性は十分あり、県内の17市町村で採択されている。

○令和3年度一般会計補正予算(第10号)

反対

至誠公明会 木村 慶憲

この議案は、低迷する経営を余儀なくされてきたマディニーをリニューアルし、金木観光物産館

として再建するものであるが、赤字補てんのため、3年にわたり2,700万円の市民の税金を投入するものであり、それ以降においても継続して指定管理料として市民の税金が投入されるリスクをはらんでいる。

同館の事業計画においても実現できるかどうか根拠に疑念を持つものである。市のあらゆる予算が減額され、寝たきり老人などの弱者に対する介護用品の現物支給減額など、市民サービス低下を目の当たりにしている。介護用品のおむつ代などはじめ、市民サービス向上の施策はたくさんある。

もっとしっかりとした、現実味のある計画に沿って実現されるべきであるし、この予算は違う市民サービスに使うべきと考え、上程議案に反対する。

○公の施設の指定管理者の指定について(金木観光物産館)

反対

至誠公明会 木村 慶憲

金木観光物産館は、旧マディニーの集客減や売上減少により、改装費1億900万をかけてリニューアルされるもので、新たに直売所を設けるなど試案されているようであるが、昨今、直売所や道の駅などを見ても苦しい経営を強いられており、軌道に乗った経営をされている直売所は数える程度である。

このような中で、今回提案されている指定管理者と予定される法人は今年6月に設立された会社で、直売所等の運営経験も実績もない会社であり、経営自体に不安要素はぬぐえない。

指定管理料の債務負担行為として年900万円の3年間合計で2,700万円投入される予定であるが、黒字化の計画も見通せない現段階では、4年後以降も指定管理料として市民の税金が投入されるリスクをはらんでいる。よって、上程された金木観光物産館の指定管理者に反対する。

賛成

新政会 伊藤 永慈

金木観光物産館指定管理者の指定は公募により、市内に本店を置く法人など生産者団体を含む「地域性を重視した要件」とし、市ホームページ及び広報や市役所に問い合わせ窓口を置き、申請予定者に説明会も行い、申請しやすい環境を整え「株式会社かなぎ振興舎」に選定されたもので、審査に当たって副市長を委員長とし各部長で構成し厳正に審査され、その結果についても審査基準を候補者、次点者の得点を明らかにしている。金木観光物産館のリニューアル事業は、金木地域が生業づくりの拠点として農家はもちろん商店街の活性化のためにも大きなチャンスとして計画されたものである。

これを契機として、金木地域が元気になる為、是非とも市民の代表である議会もこのプロジェクトを後押しして頂きたい。

令和3年第7回定例会議決結果表

【賛否の分かれた案件】

議案番号	議席番号及び 議員名 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	賛 成	反 対	白 票	議決結果
		藤森 真悦	花田 進	高橋 美奈	磯邊 勇司	外崎 英継	寺田 幸光	黒沼 剛	桑田 哲明	山田 善治	鳴海 初男	松本 和春	木村 慶憲	成田 和美	吉岡 良浩	秋元 洋子	平山 秀直	三濁 春樹	木村 孝夫	山口 永慈	伊藤 清一	木村 馨	加藤 成				
議案第147号	令和3年度五所川原市一般会計補正予算(第10号)	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	11	10	0	原案可決
議案第148号	公の施設の指定管理者の指定について(金木観光物産館)	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	11	10	0	原案可決
請願第1号	核兵器禁止条約に関する請願書	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	11	10	0	採 択
請願第2号	「学校給食の無償化」に関する請願書	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	11	10	0	採 択

※(1)議長は採決に加わりません。(2)○は賛成、×は反対、白は白票(賛否が明らかでないもの)。

【全会一致の案件】

議案番号	件名	議決結果
議案第108号	令和2年度五所川原市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第109号	令和2年度五所川原市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第110号	令和2年度五所川原市国民健康保険医科診療施設勘定特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第111号	令和2年度五所川原市国民健康保険歯科診療施設勘定特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第112号	令和2年度五所川原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第113号	令和2年度五所川原市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第114号	令和2年度五所川原市高等看護学院特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第115号	令和2年度五所川原市神山財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第116号	令和2年度五所川原市松野木財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第117号	令和2年度五所川原市戸沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第118号	令和2年度五所川原市嘉瀬財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第119号	令和2年度五所川原市喜良市財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第120号	令和2年度五所川原市相内財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第121号	令和2年度五所川原市脇元財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第122号	令和2年度五所川原市十三財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第123号	令和2年度五所川原市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
議案第124号	令和2年度五所川原市工業用水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
議案第125号	令和2年度五所川原市下水道事業会計決算の認定について	認 定
議案第126号	令和3年度五所川原市一般会計補正予算(第9号)	原案可決
議案第127号	令和3年度五所川原市神山財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第128号	令和3年度五所川原市下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第129号	五所川原市産業振興促進区域における固定資産税の特別措置に関する条例の制定について	原案可決
議案第130号	五所川原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第131号	五所川原市金木観光物産館設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第132号	五所川原市立佗武多の館設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第133号	五所川原市金木交流施設設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第134号	市道路線の認定について(漆川27号線)	原案可決
議案第135号	市道路線の認定について(漆川20号線)	原案可決
議案第136号	五所川原市過疎地域持続的発展計画の策定について	原案可決
議案第137号	喜良市財産区管理会財産区管理委員の選任について(今 金明氏)	同 意
議案第138号	喜良市財産区管理会財産区管理委員の選任について(米谷 勝昭氏)	同 意
議案第139号	喜良市財産区管理会財産区管理委員の選任について(加賀谷 勝雄氏)	同 意
議案第140号	喜良市財産区管理会財産区管理委員の選任について(中村 正氏)	同 意
議案第141号	喜良市財産区管理会財産区管理委員の選任について(古川 政信氏)	同 意
議案第142号	喜良市財産区管理会財産区管理委員の選任について(今 友藏氏)	同 意
議案第143号	喜良市財産区管理会財産区管理委員の選任について(今 淳一氏)	同 意
議案第144号	人権擁護委員の候補者の推薦について(長内 一氏)	同 意
議案第145号	人権擁護委員の候補者の推薦について(藤本 敦子氏)	同 意
議案第146号	人権擁護委員の候補者の推薦について(近藤 昌浩氏)	同 意
発議第4号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	原案可決
発議第5号	新型コロナウイルス感染症による米価下落に対し緊急対策を求める意見書	原案可決
発議第6号	新型コロナウイルス感染症による米価下落に対し緊急対策を求める意見書	原案可決

次回定例会の予定	12月 2日(木)	本会議(開会)
	12月 6日(月) ～ 7日(火)	本会議(一般質問)
	12月 8日(水)	本会議(総括質疑、予算特別委員会設置、議案付託)
		予算特別委員会(組織会)
		常任委員会(議案審査)
	12月 9日(木) ～10日(金)	予算特別委員会(議案審査)
12月16日(木)	本会議(閉会)	

● お問い合わせ先…議会事務局

※開会は午前十時を予定しています。
※日程が変更になる場合があります。
次回定例会日程が正式に決定されるのは十一月下旬となりますので、市のホームページ等でご確認ください。

議会を傍聴してみませんか

議会では、市民生活に係る重要な問題を審議しています。市政状況や議員活動を知るためにも、ぜひ議会の傍聴にお越しください。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、市議会の傍聴を次のとおりとします。ご不便をおかけしますがご理解いただきますようお願いいたします。

1. 本庁舎1階正面玄関にて検温を行っていただきます。37.5℃以上の発熱がある場合は傍聴をご遠慮ください。なお、発熱がない場合でも、息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)等の強い症状のいずれかがあるときは傍聴を控えてください。
2. 傍聴の際は、受付で手指消毒をしてください。
3. 傍聴席は43席ありますが、新型コロナウイルス感染症により間隔を空けているため、現在19席と車椅子の方2席の使用となっていますので、定員を超えた場合は、ご了承ください。



議場



傍聴席

※本会議の様子は、インターネット中継でご覧になれます。また、本庁舎1階土間ホールでは、催事等で土間ホールを使用している場合を除き、本会議および予算(決算)特別委員会の中継を放映しています。

令和3年傍聴者人数(各回累計)

令和3年第1回臨時会	1名
第2回定例会	47名
第3回臨時会	1名
第4回定例会	20名
第5回臨時会	0名
第6回臨時会	1名
第7回定例会	23名

編集後記

当市における生活習慣病、いわゆるガン・糖尿病・循環器病の患者数は、令和2年度の通院・入院の延べ人数でガン4,381人、循環器系6,435人、糖尿病4,690人となっている。患者さんの経済的負担はもとより家族の負担やストレスも非常に大きなものがあります。日常生活で体をよく動かしている人は、そうでない人に比べ、死亡リスクが3割から4割低くなるとされています。さらに日常生活における歩数を1日あたり1,500歩増加させることにより、ガンや糖尿病などの発症及び死亡リスクを2%減少させ、血圧の減少にもつながるとされています。

健康で豊かな暮らしのため、健康寿命を少しでも延ばすため、天気の良い日は、散歩を兼ねたウォーキングをしてみませんか。まずは1歩から。(外崎 英継)

広報広聴委員会

委員長	山口 孝 夫
副委員長	高橋 美 奈
委員	花田 進
委員	寺田 幸 光
委員	桑田 哲 明
委員	黒 沼 剛
委員	外崎 英 継

■発行／五所川原市議会 ■編集／広報広聴委員会

〒037-8686 五所川原市字布屋町41番地1 TEL 0173-35-2114 FAX 0173-35-2113

ホームページ [五所川原市](#) [検索](#) → 五所川原市ホームページの関連サイト [五所川原市議会](#) をクリック

メールアドレス gikai@city.goshogawara.lg.jp

※ご意見・ご要望をお聞かせください。いただいたご意見はよりよい議会だよりの発行に役立たせていただきます。



議会ホームページのQRコード